

4

ユニセフリーダー講座の参加者が文化祭で活躍

東京都町田市鶴川高等学校

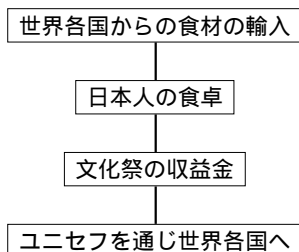
報告者 向山裕子先生

文化祭は、生徒にとってそれまでに積み上げてきた調査、研究をさまざまな形で表現する貴重な学校行事だが、今年ほど有意義に活用されたことはなかったように感じる。これはユニセフリーダー講座に生徒たちが参加させていただいたからに他ならない。

本校の文化祭は、部活動発表の他に、3年生が食堂を運営し、1、2年生が展示発表とバザーを行うのが常であるが、単に食堂を運営するだけでなく提供する食品について研究しようということにな



りました。食品をたどっていくと日本は海外からの輸入に依存しており、世界の平和と穏やかな発展が、日本人の安定した生活を支えているのだということを再認識するために、下記のような学習から活動へ、そして生き方を考えるという流れを作りました。



リーダー講座で理解したことをクラスで発表したり、インターネットでユニセフを検索し、理解を深めました。何より有意義だったのはバザーをする下級生のクラスにリーダー講座の参加者がユニセフ活動について説明に行き、意識を高めた上でバザーに取り組めたということで

す。生徒はこの活動を通じ、実際に行動することによって自信をつけ、満足した様子でした。今後生徒たちは、さまざまな進路を選択していくだろうが、何かがついたことがあったら、自分で調べ、自分ができることを見つけ、参加し協力していくという生きる力が身についたのではなかろうか。

*「ユニセフリーダー講座」：夏休み期間中に日本ユニセフ協会が開催する中学・高校生対象の講座。昨年度は20校から100名近くが集まる。ユニセフや世界の子どもの状況についての説明のほか、参加型のワークショップを実施。申し込みは、誰でも参加できる。

